

## 2021年度設備投資動向調査結果 (2021年度修正計画)

製造業は積極姿勢を維持する一方、  
非製造業は抑制色強まる

一般財団法人 長野経済研究所

お問合せ先:調査部 担当 桑井、中村、佐藤 (TEL:026-224-0501)

< 「設備投資動向調査」アンケート実施要領 >

調査実施時期: 2021年9月下旬～10月中旬

調査対象企業: 県内企業 646社

製造業 275社

非製造業 371社

有効回答数: 321社(有効回答率49.7%)

製造業 160社(回答率58.2%)

非製造業 161社(回答率43.4%)

< 調査内容 >

- ◆ 2020年度設備投資実績額(2020年4月～21年3月)
- ◆ 2021年度設備投資当初計画額(2021年4月～22年3月)
- ◆ 2021年度設備投資実績見込額(同上)
- ◆ 2021年度設備投資目的(同上)
- ◆ 2021年度設備投資額当初計画修正理由(同上)
- ◆ 2021年度主要設備投資の具体例(同上)
- ◆ (参考資料)2022年度設備投資当初計画(2022年4月～23年3月)

注)2021年度の実績見込額が不明の場合は当初計画額を代入しています。

< 機械工業業種区分 >

- ・一般機械 日本標準産業分類の中分類25「はん用機械器具製造業」および26「生産用機械器具製造業」に準拠。  
農業用機械、金属加工機械などを製造。
- ・電気機械 日本標準産業分類の中分類28「電子部品・デバイス・電子回路製造業」および29「電気機械器具製造業」に準拠。  
電子部品、デバイスなどを製造。
- ・輸送機械 日本標準産業分類の中分類31「輸送用機械器具製造業」に準拠。  
自動車部品などを製造。
- ・精密機械 日本標準産業分類の中分類27「業務用機械器具製造業」に準拠。  
光学機械器具、時計、各種計器などを製造。

■概況

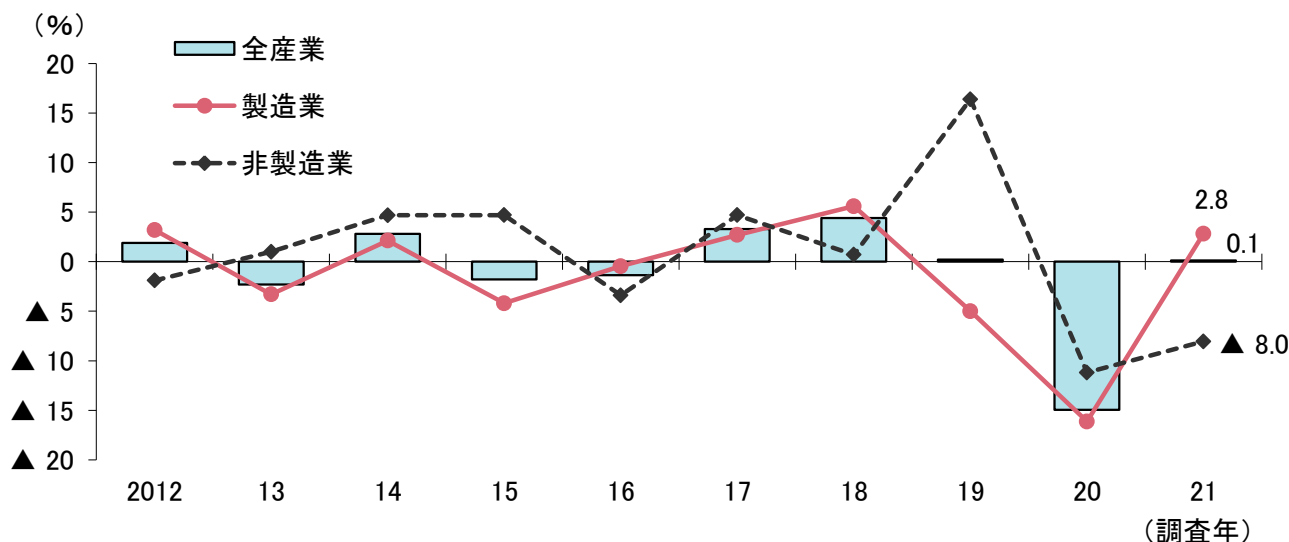
- 長野県内企業の2021年度設備投資実績見込額は、全産業で前年度比+18.5%、当初計画比+0.1%とほぼ当初計画の通りとなった（図表1、2）。業種別では製造業が当初計画比+2.8%と上振れした一方、非製造業は同△8.0%の下方修正となった。
- 投資地域別の21年度実績見込額は、投資額の8割を占める県内が前年度実績比+12.3%、当初計画比△0.6%とやや下振れしたものの、県外が当初計画比+3.5%、海外が同+5.8%と、いずれも上方修正となった。

図表1 2021年度業種別・投資先別の設備投資動向

業種	区分	社数	2020年度 実績 (百万円)	2021年度当初計画額		2021年度実績見込額		当初計画 修正率 (%)	設備投資 DI (%ポイント)
				(百万円)	前年度比 (%)	(百万円)	前年度比 (%)		
全産業		321	87,098	103,136	18.4	103,251	18.5	0.1	6.2
製造業		160	54,306	77,401	42.5	79,587	46.6	2.8	23.8
	非製造業	161	32,792	25,735	▲21.5	23,664	▲27.8	▲8.0	▲11.2
投資地域	県内	282	77,014	87,034	13.0	86,480	12.3	▲0.6	3.2
	県外	54	7,010	11,655	66.3	12,067	72.1	3.5	9.2
	海外	14	3,074	4,448	44.7	4,705	53.1	5.8	42.8

(注)設備投資DI=2020年度実績額に比べ2021年度実績見込額が「増額見込みの企業割合」-「減額見込みの企業割合」四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

図表2 当初計画修正率の推移(各年とも修正状況調査時点)



(注)当初計画修正率=2021年度実績見込額/2021年度当初計画額

## ◆ 製造業の設備投資動向

## ○ 設備投資実績見込額は、前年度実績比+46.6%の増額見込み

- 21年度実績見込額は、投資額の約8割を占める機械系製造業が前年度実績比+36.2%、その他製造業が同+92.8%となり、製造業全体では同+46.6%の増額となった（**図表3**）。設備投資DIも製造業全体で+23.8と実績見込額が前年度実績を上回る企業が多くなった。

## ○ 2021年度当初計画に対する修正状況

- 当初計画額に対する修正率は、製造業全体で+2.8%となった。修正理由についてみると、増額理由では、受注の増加やコロナ禍からの回復を見据えた「需要見通しの変化」が49.0%と最も高く、次いで「投資内容の変更」が30.6%と続いた（**図表5**）。一方減額理由では、「収益見通しの変化」が34.4%と最も高く、次いで「需要見通しの変化」や「投資内容の変更」、「投資時期の変更」がいずれも28.1%と続いた。

## ○ 業種別動向

- 一般機械**は、工場や生産ラインの維持・更新に加え、ソフトウェアなどの情報化・IT化投資がみられ、実績見込額は前年度実績比+4.0%となった。当初計画修正率は△0.3%とほぼ横ばいとなり、設備投資DIは+2.7だった。
- 電気機械**は、世界的に需要が高まる半導体や自動車関連向けを中心に既存製品等の増産や新製品対応の投資がみられ、実績見込額は前年度実績比+69.0%となり、当初計画修正率も+2.2%と上方修正された。また、設備投資DIも+48.8と前年度を上回る投資を行う企業が多くなった。
- 輸送機械**は、既存製品の増産や新製品対応に向けた生産ラインの増設などがみられたが、新型コロナの影響で先送りとなった投資もあり前年度実績比△5.1%となった。また、半導体不足などによる完成車の生産見通しの不透明さから当初計画修正率も△6.9%となり、設備投資DIは0.0となった。
- 精密機械**は、一部企業で新製品対応のための生産ラインの増設や設備の更新がみられ、実績見込額は前年度実績比+105.5%と大幅な増加となった。また、需要見通しの改善などから当初計画修正率は+30.2%と上方修正され、設備投資DIも+52.9と、いずれも製造業で最も高くなった。
- その他製造業のうち食料品**は、一部企業で増産に向けた工場の新設や生産ラインの増設などがみられ、実績見込額は前年度実績比+117.9%と大幅な増額見込みとなり、設備投資DIも+28.6と前年度を上回る投資を行う企業が多くなった。

図表3 製造業の業種別・投資先別の設備投資動向

業種	区分	社数	2020年度	2021年度当初計画額		2021年度実績見込額		当初計画 修正率 (%)	設備投資 D I (%ポイント)
			実績 (百万円)	(百万円)	前年度比 (%)	(百万円)	前年度比 (%)		
製造業	製造業	160	54,306	77,401	42.5	79,587	46.6	2.8	23.8
	機械系製造業	113	44,360	58,873	32.7	60,413	36.2	2.6	27.4
	一般機械	37	16,216	16,925	4.4	16,868	4.0	▲ 0.3	2.7
	電気機械	43	18,246	30,181	65.4	30,841	69.0	2.2	48.8
	輸送機械	16	6,908	7,047	2.0	6,558	▲ 5.1	▲ 6.9	0.0
	精密機械	17	2,990	4,720	57.8	6,146	105.5	30.2	52.9
	その他製造業	47	9,946	18,529	86.3	19,175	92.8	3.5	14.9
	食料品	21	6,215	13,626	119.2	13,545	117.9	▲ 0.6	28.6
その他	26	3,731	4,903	31.4	5,630	50.9	14.8	3.9	
投資地域	県内	145	47,059	63,940	35.9	65,408	39.0	2.3	20.0
	県外	30	4,173	9,014	116.0	9,475	127.1	5.1	36.7
	海外	14	3,074	4,448	44.7	4,705	53.1	5.8	42.9

(注) 設備投資DI=2020年度実績額に比べ2021年度実績見込額が「増額見込みの企業割合」-「減額見込みの企業割合」

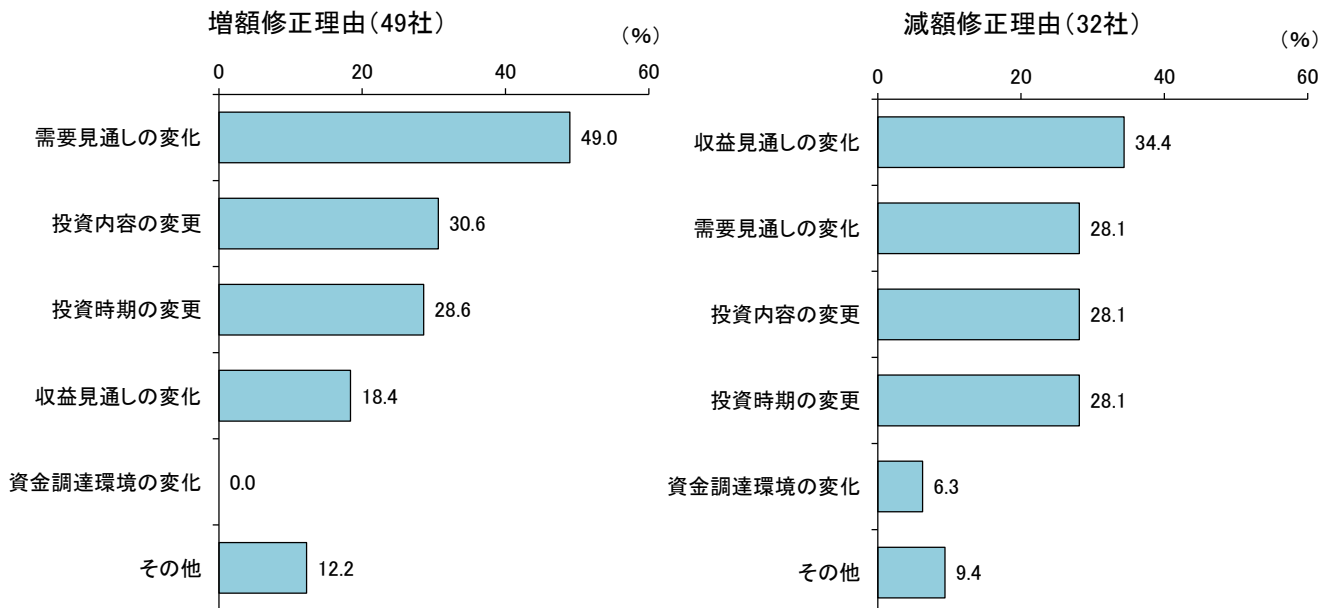
図表4 2021年度の投資目的(製造業)

(複数回答:%)

投資目的	業種 製造業								
	機械系製造業					その他製造業			
		一般機械	電気機械	輸送機械	精密機械		食料品	その他	
維持・更新	79.4	81.1	82.4	85.0	68.8	81.3	74.3	72.2	76.5
情報化・IT化	23.4	25.5	44.1	25.0	12.5	0.0	17.1	16.7	17.6
省力化・合理化	21.3	24.5	23.5	30.0	18.8	18.8	11.4	16.7	5.9
既存製品等の増産	36.9	37.7	32.4	42.5	43.8	31.3	34.3	33.3	35.3
新製品対応	26.2	29.2	17.6	30.0	43.8	37.5	17.1	16.7	17.6
製品高度化	13.5	15.1	5.9	10.0	18.8	43.8	8.6	11.1	5.9
新規事業・新分野への進出	5.0	3.8	5.9	0.0	12.5	0.0	8.6	11.1	5.9
研究開発	6.4	6.6	8.8	5.0	6.3	6.3	5.7	0.0	11.8
福利厚生	4.3	4.7	2.9	5.0	0.0	12.5	2.9	0.0	5.9
環境対応	6.4	5.7	8.8	5.0	6.3	0.0	8.6	0.0	17.6
その他	1.4	0.9	0.0	2.5	0.0	0.0	2.9	0.0	5.9

(注)   は、各業種で最も回答割合が高い投資目的、  は次いで回答割合が高い投資目的

図表5 製造業の修正理由



(注) 複数回答のため合計が100%とならない。

## ◆ 非製造業の設備投資動向

○ 設備投資実績見込額は、前年度実績比 $\Delta 27.8\%$ と前年度を大きく下回る

- 21年度実績見込額は、商業が前年度実績比 $\Delta 8.9\%$ 、建設業が同 $\Delta 69.0\%$ 、サービス業が同 $\Delta 23.2\%$ といずれも前年度を下回り、全体では同 $\Delta 27.8\%$ となった（**図表 6**）。設備投資DIは、商業が $\Delta 3.2$ 、建設業が $\Delta 18.2$ 、サービス業が $\Delta 14.8$ となり、全体では $\Delta 11.2$ と実績見込額が前年度を下回る企業が多くなった。

## ○ 2021年度当初計画に対する修正状況

- 当初計画額に対する修正率は非製造業全体で $\Delta 8.0\%$ となった。修正理由についてみると、減額理由では、新型コロナに伴う「収益見通しの変化」が $66.7\%$ と最も高く、次いで「投資時期の変更」が $20.5\%$ となった（**図表 8**）。一方、増額理由では、「収益見通しの変化」が $38.5\%$ と最も高く、次いで「投資内容の変更」が $26.9\%$ となった。

## ○ 業種別動向

- 商業のうち卸売業は、維持・更新や情報化・IT化投資などの増加から、実績見込額は前年度実績比 $+24.1\%$ となった。ただ、当初計画修正率は $\Delta 28.8\%$ と減額修正されており、設備投資DIも $\Delta 3.7$ と前年度を下回る企業が多くなった。
- 小売業は、新規出店や店舗・システム等の改修がみられたものの、前年度にみられた店舗建設などの大規模投資の反動もあり、実績見込額は前年度実績比 $\Delta 14.3\%$ となった。当初計画修正率は、新型コロナによる収益見通しの悪化などから $\Delta 8.4\%$ となったほか、設備投資DIも $\Delta 2.8$ となった。
- 前年度に大型投資がみられた建設業は、実績見込額が前年度実績比 $\Delta 69.0\%$ となった。当初計画修正率も $\Delta 5.2\%$ となり、設備投資DIも $\Delta 18.2$ と前年度を下回る企業が多くなった。
- サービス業のうち運輸・旅客業は、前年度に大規模な車両の入れ替えなどの投資があった反動から実績見込額は前年度実績比 $\Delta 20.9\%$ となったほか、当初計画修正率も $\Delta 4.6\%$ の減額修正となった。ただ、多くの企業で車両の更新がみられ設備投資DIは $+9.1$ と、非製造業で唯一のプラスとなった。
- ホテル・旅館業は、前年度に建て替えや改装などがあった反動や、新型コロナの影響による宿泊客数の減少による需要の落ち込みなどにより、実績見込額は前年度実績比 $\Delta 50.2\%$ となり、設備投資DIも $\Delta 72.7$ と非製造業で最もマイナス幅が大きくなった。
- その他サービス業は、建物・設備の修繕やソフトウェア購入など情報化・IT化投資がみられ、実績見込額は前年度実績比 $+3.1\%$ の増額見込みとなった。一方、設備投資DIは $\Delta 3.1$ と前年度を下回る企業が多くなった。

図表6 非製造業の業種別設備投資動向

業種	区分	社数	2020年度実績 (百万円)	2021年度当初計画額		2021年度実績見込額		当初計画修正率 (%)	設備投資DI (%ポイント)
				(百万円)	前年度比 (%)	(百万円)	前年度比 (%)		
非製造業	製造業	161	32,792	25,735	▲ 21.5	23,664	▲ 27.8	▲ 8.0	▲ 11.2
	卸売業	63	11,931	12,518	4.9	10,870	▲ 8.9	▲ 13.2	▲ 3.2
	小売業	27	1,677	2,921	74.1	2,081	24.1	▲ 28.8	▲ 3.7
	建設業	36	10,254	9,597	▲ 6.4	8,789	▲ 14.3	▲ 8.4	▲ 2.8
	サービス業	44	7,057	2,308	▲ 67.3	2,188	▲ 69.0	▲ 5.2	▲ 18.2
	運輸・旅客	54	13,804	10,909	▲ 21.0	10,606	▲ 23.2	▲ 2.8	▲ 14.8
	ホテル・旅館	11	5,672	4,707	▲ 17.0	4,489	▲ 20.9	▲ 4.6	9.1
	その他	11	4,253	2,133	▲ 49.8	2,117	▲ 50.2	▲ 0.8	▲ 72.7
	その他	32	3,879	4,069	4.9	4,000	3.1	▲ 1.7	▲ 3.1

(注) 設備投資DI=2020年度実績額に比べ2021年度実績見込額が「増額見込みの企業割合」-「減額見込みの企業割合」

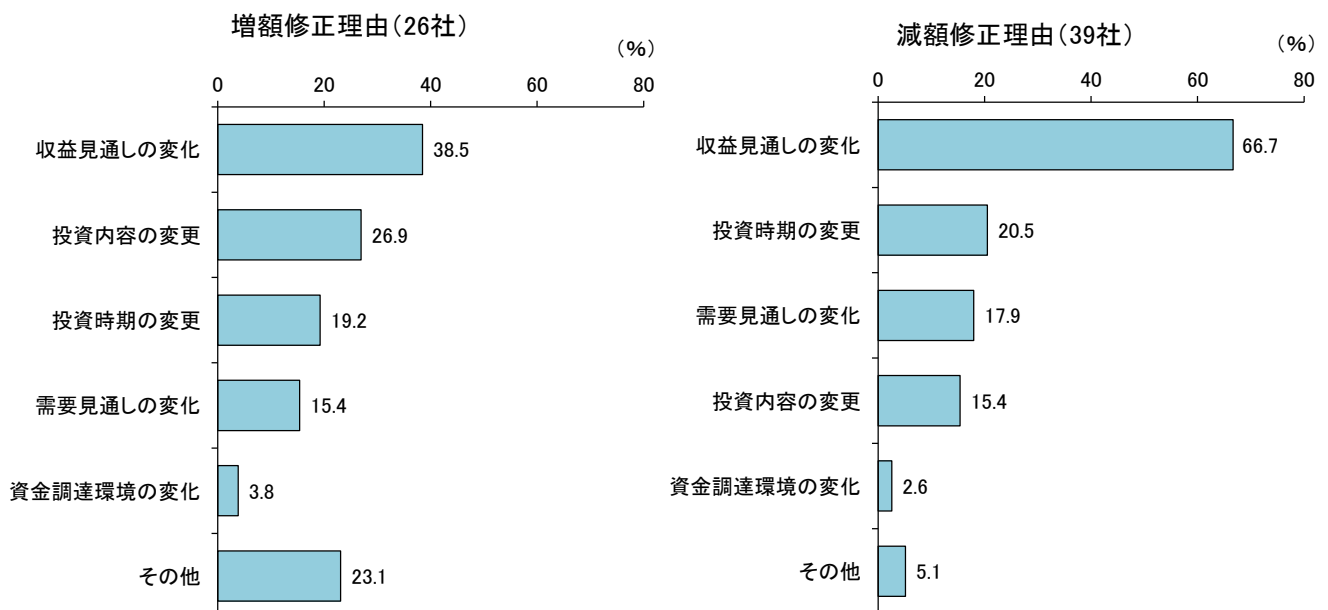
図表7 2021年度の投資目的(非製造業)

(複数回答:%)

投資目的	業種別								
	卸・小売業	卸売業		小売業	建設業	サービス業			
		卸売業	小売業			運輸・旅客	ホテル・旅館	その他	
維持・更新	85.0	89.1	81.0	96.0	88.9	77.8	100.0	70.0	70.8
情報化・IT化	49.6	52.2	61.9	44.0	63.9	35.6	45.5	20.0	37.5
省力化・合理化	7.9	8.7	4.8	12.0	5.6	8.9	0.0	0.0	16.7
既存建物・店舗・倉庫の拡充改善等による売上増大	16.5	17.4	23.8	12.0	5.6	24.4	27.3	40.0	16.7
新店舗、新営業店開設による売上増大	7.9	8.7	0.0	16.0	2.8	11.1	0.0	30.0	8.3
新規事業・新分野への進出	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	4.2
研究開発	1.6	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0
福利厚生	5.5	4.3	9.5	0.0	11.1	2.2	9.1	0.0	0.0
環境対応	6.3	2.2	0.0	4.0	13.9	4.4	0.0	20.0	0.0
その他	3.9	2.2	0.0	4.0	5.6	4.4	0.0	10.0	4.2

(注) 濃いグレーは、各業種で最も回答割合が高い投資目的、薄いグレーは次いで回答割合が高い投資目的

図表8 非製造業の修正理由



(注) 複数回答のため合計が100%とならない。

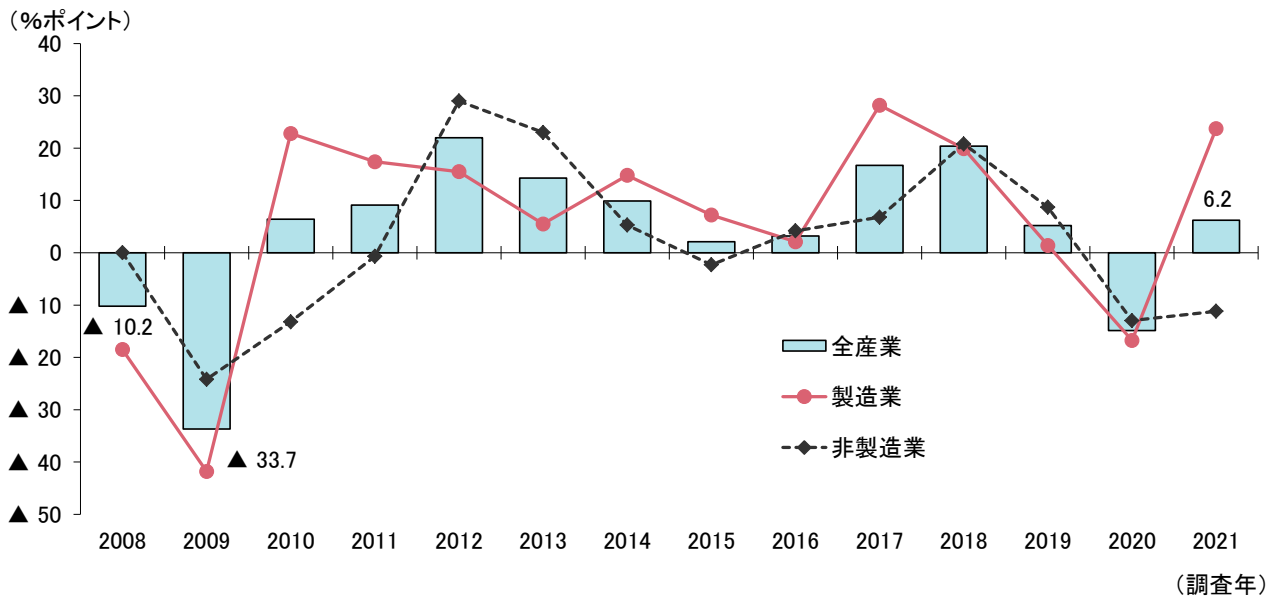
## <参考資料>

2022年度設備投資計画額(回答企業のみ集計)

業種	区分	社数	2021年度 当初計画額 (百万円)	2021年度 実績見込額 (百万円)	2022年度計画額			設備投資DI	
					(百万円)	対2021当初 (%)	対2021実績 (%)	対2021当初 (%ポイント)	対2021実績 (%ポイント)
全産業		189	65,395	63,190	70,219	7.4	11.1	0.0	▲ 2.2
製造業		105	48,094	49,321	50,495	5.0	2.4	3.8	▲ 7.7
非製造業		84	17,301	13,869	19,724	14.0	42.2	▲ 4.8	4.8
投資地域	県内	188	56,820	55,944	62,024	9.2	10.9	4.8	2.2
	県外	26	6,302	6,557	6,189	▲ 1.8	▲ 5.6	7.7	0.0
	海外	9	2,273	2,530	2,006	▲ 11.7	▲ 20.7	11.1	▲ 33.4

(注) 設備投資DI=2021年度当初計画、実績見込額に比べ2022年度計画額が「増額計画の企業割合」-「減額計画の企業割合」

設備投資DIの推移(各年9月調査時点)



(注) 設備投資DI=2020年度実績額に比べ2021年度実績見込額が「増額見込みの企業割合」-「減額見込みの企業割合」